

上田順平個展「シン / エン」



ソウ/チ 2019 レンガ、テラコッタ、陶器、炆器、半磁器、磁器、ファインセラミックス Photo:Takeru KORODA

会期

2019年9月27日(金)～10月26日(土)(日・祝・月休廊)

時間

12:00 - 18:00

※10月5日(土)は「ニューイ・ブランシュ KYOTO2019」の開催にあわせて22:00まで開廊

会場

イムラアートギャラリー京都

協力

公益財団法人 東急財団、京セラ株式会社、都窯業株式会社、株式会社タツミ、宝塚大学

この度イムラアートギャラリーは、芸術における「やきもの」の可能性を探求し、多様な表現を展開する上田順平の個展「シン / エン」を開催致します。

上田は、これまで「やきもの」が背負う文化や歴史、「うつわ」という概念、装飾と機能および用途に対しての問いから、それらの関係性に着目した作品を制作してきました。

2010年には、「五島記念文化賞美術新人賞」を受け、同年より(旧)五島記念文化財団、(現)東急財団の연구원としてメキシコに滞在しました。本展は、(旧)五島記念文化財団の助成を受け、本年1月に横浜市民ギャラリーにて開催された海外研修成果発表展での作品を中心に構成されます。

上田は、研修期間中に、メキシコの風土や文化、古代文明を伝える考古学資料に触れたことにより、長い時間の中で紡ぎ出され受け継がれてきた「やきもの」の変遷や、文明と技術と芸術の接点について考えるようになったと言います。そして、水をすくう動作から生まれた掌のなかの水面の形に四角形を見たことから、原初から現在までのヒトの営為を繋ぐ手がかりとして四角形という図形に注目し、作品の要素としました。

一方、研修後の大きな変化として、これまで素材としてきた陶磁器に加え、レンガ、瓦、*1ファインセラミックスを作品素材に用いるようになりました。世界最古の建築資材の一つであるレンガと、焼き物の歴史の最先端に位置するファインセラミックス、そして、日本の風土から生み出され育まれ続ける瓦*2（淡路瓦）、それぞれが持つ文化的背景や物質の特色から作品素材として選択され、それらの焼き物だけが持つ材質感と色彩による表現を提示します。

イムラアートギャラリーの展示スペースは特徴的なレンガ床を呈しており、作品としてのやきものと現代生活の中で機能する焼き物の在り方や、作品と展示空間の豊かな色彩の重なりにもご着目いただけます。

本展では、これらの多様な「やきもの」を用いて、「最初の理の発見から今日までのヒトの営為と物質と時間の関係」を可視化し、観者の中に一つの体験を生み出すことを試みます。



リ/ジュン 2017 ガラス Photo:Takeru KORODA

*1 ファインセラミックス

ファインセラミックスは、ガラスや陶磁器などの仲間であり、その中でも精製された原料を用いて作られた高精度・高機能なセラミックスを指します。自動車やスマートフォン等の部品として幅広く用いられています。

*2 淡路瓦

淡路瓦は、日本三大瓦の一つであり兵庫県淡路島で制作されています。淡路島特有の良質な土から作られ、煙で燻す事で表面に炭素の膜をつくる「いぶし瓦」を主体とします。粒子が細かく美しい仕上がりが特徴です。

上田 順平 (うえだ じゅんぺい)

- 1978 大阪府生まれ
2003 大阪芸術大学美術学部工芸学科陶芸コース卒業
2005 京都市立芸術大学大学院修士課程美術研究科陶磁器専攻終了
2010 五島記念文化財団研修員としてメキシコにて滞在制作

個展

- 2004 コウキュウスキン (ギャラリー 16/ 京都)
2006 チャンボン (ギャラリー 16/ 京都)
2008 パチモン (イムラアートギャラリー / 京都)
2010 帰ってきたウラシマピーターパン / カンゲン (イムラアートギャラリー / 京都)
2017 リン / テン (京セラ美術館 / 京都)
2019 シン / エン (横浜市民ギャラリー)

グループ展

- 2005 京都府美術工芸新鋭選抜展 2005- 新しい波 - (京都府文化博物館 / 京都)
MUSEUM LABORATORY (海岸通ギャラリー CASO/ 大阪)
2006 京都府美術工芸新鋭選抜展 2006- 新しい波 - (京都府文化博物館 / 京都)
取っ手に注目 (岐阜県現代陶芸美術館 / 岐阜)
2008 第 11 回 岡本太郎現代芸術大賞展 (川崎市岡本太郎美術館 / 神奈川)
所蔵作品展 子ども工芸館 - 装飾 / デコ - (東京国立近代美術館工芸館 / 東京)
2009 現代工芸への視点 - 装飾の力 (東京国立近代美術館工芸館 / 東京)
遊ぶ字展 (岡本太郎記念館 / 東京)
2010 きょう・せい (京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA/ 京都)
BASARA (スパイラルガーデン / 東京)
Proyecto JAPOMEX (Galeria Parada 54/ メキシコシティ、メキシコ)
2011 ZIPANGU 展 -31 人の気鋭作家が切り拓く現代日本のアートシーン (日本橋高島屋 / 大阪高島屋 / 京都高島屋)
New Millennium Japanese Ceramics (Northern Clay Center/ ミネソタ、アメリカ)
TARO LOVE 展 岡本太郎と14人の遺伝子 (西武百貨店 / 東京)
JUMPEI UEDA Taller de Cerámica (バハカリフォルニア自治大学ギャラリー / メヒカリ、メキシコ)
2012 CONTENEDORES IMAGINARIOS (Casa de Cultura, Templo de Carmen / チアパス、メキシコ)
ジパング展 沸騰する日本の現代アート (新潟県立万代島美術館 / 高崎市美術館八戸市美術館 / 秋田県近代美術館)
2013 KYOTO ARTISTS MEETING (Antena Media/ 京都)
おいしい展覧会 ~ art dining ~ (galerie 16/ 京都)
2016 Exposición Internacional de Gráfica Actual. México • Brasil • Japón
(Vestíbulo del Teatro Universitario Universidad Autónoma de Baja California/ メヒカリ、メキシコ)
Cerámica Contemporánea en Chiapas (Centro Cultural de Chiapas "Jaime Sabines" / チアパス、メキシコ)
2017 ときを掬ふ (アートスペース虹 / 京都)
ときを掬ふ // 遊糸洞 (遊糸洞 / 大阪)
Stone Letter project - 石からの手紙 #1 (宝塚大学ギャラリー TRI-ANGLE/ 兵庫)

受賞歴

- 2006 京都府美術工芸新鋭選抜展 2006- 新しい波 - 工芸部門・最優秀賞
2008 第 11 回 岡本太郎現代芸術大賞展 岡本敏子賞
2010 五島記念文化賞 美術新人賞
2013 第 31 回京都府文化賞 奨励賞
2018 平成 29 年度京都市芸術新人賞

imura art gallery

〒606-8395
京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町31
開廊時間 : 火曜日~土曜日 / 12:00 - 18:00
休廊日 : 日・月・祝祭日

Tel : 075-761-7372
Fax : 075-761-7362
E-mail : info@imuraart.com

